



はくい (HAKUI)

設置目的

- ① 市民に市議会の活動状況、情報を提供し、
- ② 市民との意思疎通手段を多重化しながら、
- ③ 市民の要望を市政に反映させるとともに、
- ④ 分権時代に向けた市議会の活性化を図る。

平成28年1月号(2016)

市議会だより

No.68

発行者／石川県羽咋市議会

編集者／市議会だより編集委員会

住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

一般質問…………… 2

各委員会報告…………… 7

市民の声…………… 10



自然栽培実践田での稲刈り

平成27年第5回定例会の概要

平成27年第5回羽咋市議会定例会が11月30日から12月15日までの16日間開催された。提出された議案は、平成27年度羽咋市一般会計補正予算案など議案16件、報告2件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、がんばる羽咋創生総合戦略を策定したこと、「今後は、総合戦略に掲げた各施策を着実に実行していく」と決意を述べた。また、平成28年度の予算編成方針について、地域資源を活用した農業の活性化など新たな雇用の創出や、(仮称)道の駅はくいの整備をはじめ、移住・定住の促進、子育て環境の充実などの施策に重点的に取り組むと説明した。

12月8日の質問日では10人の議員が質問に立ち、羽咋創生総合戦略、マイナンバー制度、自然

栽培の聖地化、交流人口の拡大と移住支援、市道の融雪装置の現状などについて質問した。

最終日の採決では、平成27年度羽咋市一般会計補正予算案など議案16件、報告2件を全会一致または賛成多数で原案のとおり可決、承認。請願4件のうち2件を全会一致で採択、1件を不採択、1件を継続審査とした。また、継続審査中の市長提出認定議案7件について、全会一致または賛成多数で原案のとおり可決、承認。追加された市長提出議案第60号「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」を可決、市長提出諮問第1号、第2号「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」を同意した。

第41代議長 就任あいさつ

新年明けましておめでとうございます。

この度、栄誉ある第41代羽咋市議会議長に就任することとなり、身に余る光栄であると同時に、その重責に身の引き締まる思いであります。

もとより議員経験も浅く、複雑な議会運営は未知の世界ではありますが、先輩各位のご指導を賜りながら円滑な議会運営に努めたいと思います。

ご承知のとおり、日本創生会議では、全国1,742の市町村の内、羽咋市を含む896の自治体を消滅可能性都市にリストアップいたしました。このことは、私どもに大きな衝撃を与えることになりました。

本市では、この消滅可能性都市を何としても回避するため、羽咋市人口ビジョンや羽咋創生総合戦略を策定し、今後5カ年間着実に実行することとしています。

ただ、国の財政事情も厳しく、すべての自治体が支援を受けることは困難であります。自治体間の生き残りをかけた戦いであり、勝ち残るためにはスピードある対応と斬新なアイデアが求められ、素早い行動力が必要であります。

市議会としても、羽咋創生に対する各施策の実施に対し、これまで以上にチェック機能を強化するとともに、前向きな提言や活発な議論を展開しなければなりません。

自分自身極めて微力であり、浅学非才の身ではありますが、粉骨砕身努力する所存でありますので、市民各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつといたします。



大塚 幸男 議長



櫻井 英一 議員

人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちへ



策定された「総合戦略」を山辺市長へ

羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【質問】 シンポジウムや市民からのアンケートの意見も反映して、市独自の人口ビジョンと羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。この総合戦略の期間は平成27年度～平成31年度までの5年間であるが、必要な予算は5年間でいくらか試算しているのか。

【答弁】 今年度は、地方創生交付金として先行型の基礎交付分で3,921万円、上乗せ交付分で5,900万円、地域消費喚起・生活支援型として4,270万円、合わせて1億4,091万円の交付を受け、事業を推進している。総合戦略で重点事業と位置付ける道の駅整備事業、ジビエ特産化事業、自然栽培普及事業等を中心に5年間で13億円程度と試算している。

災害時における企業、団体等との協力体制

【質問】 県内の自衛隊OBでつくる石川県隊友会と災害協定の締結をしてはどうか。隊友会は、自衛隊で豊富な現場経験を積んだ方々が、その経験・知識を生かし、全国で災害時における被害情報の収集及び伝達、行方不明者の搜索や被災者の救助など、住民の生命・財産を守るための活動を行っている。

【答弁】 災害現場の最前線で活動されてきた自衛隊OBの方々に、大規模災害時に救助・救援活動にご協力いただけることになれば大変心強く感じる。今後は、石川県隊友会と災害協定の締結を早急に検討したい。

その他の質問

①公共施設の総合的な管理運用、再編について



浅野 俊二 議員

あなたの情報が ねらわれている!!



マイナンバーカード

マイナンバーは、大丈夫か

【質問】 この制度はプライバシーの侵害として差し止め訴訟が全国的に起きている。番号制によるプライバシー権侵害の問題は、情報漏れなど目に見える侵害にとどまらず、情報の一元的管理とデータマッチングによる萎縮効果など目に見えない重大な危険が発生している。現に導入した米国や韓国は大量の情報漏れやデータマッチング、なりすまし等の被害が大きな社会問題になっている。羽咋市は指摘している問題について対策をとっているのか。マイナンバー制度の導入費用、国の補助金と不足額及び対応は。また導入に伴うメリット、デメリットは。

【答弁】 セキュリティに関しては担当課でカードの厳重な保管、カード発行の本人確認とシステム

面は外部と接続しない専用ネットワークで構築され十分な対策をとる。個人情報是一元的管理でなく、年金の情報は年金事務所、税は税務署と従来どおり分散し、行政機関同士は暗号化する。成り済まし対策として写真つきの公的身分証明書や顔認証機の導入をする。費用は7,300万円そのうちの国の補助4,000万円、導入に伴う節約効果は算出困難、メリットは家族全体の収入が把握しやすい。デメリットは情報の流出や成り済まし被害の可能性があること。

その他の質問

- ①市職員の推移と労働条件の改善について
- ②道の駅と周辺整備について
- ③ゆ華について



北川 真知子 議員

志賀原発は廃炉に！



志賀原発

活断層は否定できない

【質問】 志賀原発は、7月の原子力規制委員会の専門家会合で「活断層を否定できない」と指摘を受け11月の別の有識者による査読会合でも「活動性は否定できない」との結論に達した。活断層の上に原発を設置することは禁じられており、1号機は廃炉を迫られ、2号機の再稼働も難しくなった。志賀原発は廃炉にすべきと考えるが、市長の見解は。

また、病院や福祉施設は避難計画を策定しているが、安全に避難できる体制かを聞く。

【答弁】 原子力規制委員会のピアレビュー（査読）は審査の途中段階であり、引き続き動向を注視したい。

避難計画の妥当性は県が実施するが、市としても各施設の避難計画について検証し、避難先を把握していく。

子ども医療費窓口無料化の早期実施を

【質問】 厚労省は、地方自治体が独自に子どもの医療費窓口無料化した場合に国庫負担金を減額するペナルティを、子育て支援に逆行しているとして見直す考えを示した。子育て支援の強力なメッセージとなる子どもの医療費窓口無料化の早期実施を求める。

【答弁】 地方創生総合戦略の重点課題である人口減少対策においても子育て世代に対する支援を拡充することは重要であり、実施時期について今後前向きに検討する。

その他の質問

- ①国民健康保険について
- ②福祉サービスについて
- ③マイナンバー制度について



松永 幸則 議員

人が集まる羽咋へ トップのメッセージを



非常に高い羽咋市の教育水準

羽咋市の教育水準の高さのアピールを

【質問】優れた教育を行うまちは人が集まる。先日行われた「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」の席上でも、市長から羽咋市の教育水準が高い事をアピールする前向きな発言があったが、あらためて市長の考えを。

【答弁】ここ近年、石川県は全国学力テストにおいて全国トップクラスの水準を維持しており、その中でも本市の学力は県内上位に位置しており、全国平均を上回っている。また、ICTを活用した授業の推進、道徳教育、郷土教育も実践しており、子どもたちが個性と能力を発揮し、次代を切り開くための教育を実施している。策定した総合戦略にも掲げている「学びあい・鍛えあい・育ちあい」の3あい推進による学力、教育力の向上と充実に努めながら学力アピールも考える。

自然栽培の聖地化に向けてのビジョンを

【質問】自然栽培の聖地化に向けて、市長から市民や移住希望者の方々と共有できるような夢、明るいビジョン、前向きで強いメッセージを。

【答弁】能登の里山里海は、地域環境を生かした農林漁法と生物多様性などが認められ、世界農業遺産の認定を受けている。この地で自然栽培の聖地化を目指すことは、市民がこれまで大切にしてきた自然環境や景観、文化を後世につなぐ取り組みでもある。羽咋らしい農業のあり方を提言していくとともに、JAとタイアップし、自然栽培を中心とした特色ある農業に取り組んでいく。

その他の質問

- ①情報政策への取り組みについて
- ②自然栽培聖地化のビジョンおよびジビエ普及の施策について



高田 甚哉 議員

羽咋市の活性化を求める



千里浜インター

交流人口拡大について

【質問】道の駅の計画は、このまま工事だけが進んで行くと、代わり映えのしない施設になってしまう恐れがある。本市は歴史のある施設が金沢市について二番目に多い。しかしながら新幹線効果も微々たる効果しかない。今度こそ本気になって、道の駅の建設と交流人口拡大に向かって進むべきである。①道の駅が完成すると千里浜インター付近が、混雑すると思われるが今後の対応策は。②市内の観光地において、説明、道路標識、特産品、道路案内や誘導するガイドの方がいない。③観光地の道路、拡幅、駐車場の整備は。④道の駅の看板は今から設置すべきでは。

【答弁】①千里浜インター周辺の県道の交通渋滞

対策については、県が工事实施に向けて調査、検討を行っている。周辺の交通状況を踏まえながら、渋滞対策や利便性の向上が図られるよう必要な道路整備等を検討していく。②観光ボランティアガイドによる観光地案内についても、支援をしていく計画である。③観光地周辺の良好な道路環境が確保されるよう、パトロールの強化や迅速かつ適切な道路補修等を行っていく。④市内の誘導看板やサイン看板の見直しをしていく計画である。

その他の質問

- ①県水は将来に渡って、安心して利用できるかについて
- ②美しい農村再生支援事業の平成26年度決算9,455千円について



浜名 等 議員

消防団が必要な、安全装備品を充実せよ！



第一分団の消防ポンプ車

消防ポンプ自動車は、前回の更新から15年が経過

【質問】羽咋市消防団が使用している消防ポンプ自動車は、購入から既に15年以上が経過し、そろそろ寿命を迎えるところであり、買い替えの時期が近づいている。消防ポンプ自動車の更新は、市民の安全・安心や消防団の活動強化につながり、士気を高めるためにも、予算化を検討する必要があると考えるが、市長の考えは。

【答弁】消防団に配備している消防ポンプ自動車5台については、前回の更新は平成11年に2台、平成12年に3台を更新している。おおむね15年を経過し、老朽化している車両の中から計画的に更新を考えており、来年度以降の財政状況を見ながら予算化を検討していく。

町会に対する、LED化支援策の検討を

【質問】LED化はランニングコストの面で大きな効果があり、消費電力は8分の1に抑えられるため、電気料は6割程度になると聞く。街路灯や防犯灯の電気料が4割安くなれば、市や町会にとっては大きな経費節減になるが、今後、LED化へ向けての対応策や予算化などの具体的な施策は考えているのか。

【答弁】国はエネルギーを多く消費する蛍光灯などについて、国内の製造などを平成32年度をまでに禁止する方針を固めている。今後は町会管理の防犯灯のLED化を推進できるように、社会資本整備総合交付金事業などの有利な補助事業の活用を検討しており、今後の予算化へつなげていきたい。

その他の質問

- ①市道の融雪装置の現状について
- ②河川緊急保全対策事業について



山本 泰夫 議員

まち・ひと・しごと創生総合戦略



旧羽咋文化劇場

空き家対策

【質問】空き家対策特別措置法では、倒壊、衛生上有害となる恐れがある「特定空き家の所有者に撤去や修繕等を段階的に指導、勧告、命令することができる。空き家を増やさないためには、出生率の向上対策や生活機能を自治体の中心部に集めるコンパクトシティの実現が重要である。そのために立地適正化計画を策定すべきと考える。危険空き家基準に該当する建物で早期撤去しなければならない軒数、危険空き家の管理を促す条例の制定、アパート軒数、部屋数、入居率、旧羽咋文化劇場の撤去、マルシェ跡地のその後等どのように考えているのか。

【答弁】早期撤去しなければならない軒数は適正管理指導等が必要な空き家37軒。放置すれば危

険となる空き家12軒。条例の制定については国の施策及び他の自治体の状況を見ながら検討を行なう。アパートの軒数は約110軒、部屋数690室で入居率は民間調査で約7割と算定されている。旧羽咋文化劇場跡地は工事発注の準備中であり、建物を撤去し防災公園として整備。マルシェ跡地は土地所有者に対し空き家適正管理の協議等を行っている。

自然栽培の取り組み

【質問】アンテナショップの開設、学校給食への活用等どのように考えているのか。

【答弁】東京都内での試験的導入を検討している。自然栽培米を学校給食に使用する予定。今後も自然栽培の食の安全性の啓発に努める。



塩谷 久司 議員

三本目の矢は無農薬で発信



滝地区ほ場整備

滝地区農地再生モデルプロジェクトに自然栽培を

【質問】 県、市、J Aと地元が施策を総動員した農地中間管理事業活用の農地集積は県内第1号。太陽光発電で経営の下支えをする農山漁村再エネファンドの活用は全国第1号。食の安全が要求され、T P Pによる競争力アップを図り風光明媚な景色と文化財の共生による観光視察も視野に入れては。

【答弁】 県が実施の滝地区農地再生モデルプロジェクトのほ場は、農業用水が循環式給排水設備で自然栽培農業の実施は全面積で取組む必要があり、耕作者との調整が必要。モデル地内には風光明媚な風景や気多大社、妙成寺などの環境も活用した自然栽培体験ツアーなどさまざまなイベントを検討していく。

がんばる羽咋まち・ひと・しごと総合戦略の実現はどのように

【質問】 地域資源を活用した農業の活性化を目標とした羽咋自然栽培「聖地」化プロジェクト事業で、6次産業化の拠点となる施設を整備し、自然栽培農業への就業支援のがんばる羽咋創生推進室の活動と具体的な目玉事業、実現に向けての課題は。

【答弁】 具体的には、J Aはくいと協力し、新規農業者に貸し出す農機具の購入や指導体制の強化、自然栽培に特化した加工施設を整備する。首都圏でのアンテナショップによる情報発信と本市の魅力を広くアピールする。課題は100ヘクタールの農地確保や、新規就農希望者への情報発信が引き続き重要である。



寺井 哲也 議員

まちづくりひとづくり



妙成寺

文化財を活かしたまちづくりを

【質問】 文化財は、今後も維持管理し後世に残す大切な人類の歴史である。それを利用することも地方創生の一つである。①文化財を活用した将来的なまちづくりの取り組みや考えはあるのか。②寺社等の文化財を周回するコースの整備が必要ではないか。

【答弁】 ①第5次羽咋市総合計画において示している。具体的な取り組みとして、平成25年度に史跡寺家遺跡保存管理計画を策定し、周辺の恵まれた文化財を活かした広域的な環境整備の方針を定めた。平成28年度からは、その整備計画の策定にも着手する。②寺社については歴史的に重要なものが多い。その魅力を生かすため、寺社等文化財を中心とした情報発信の強化や、周遊モデルコースの策定及びリーフレットの作成などを進める。

学校教育の推進・情報機器の整備を

【質問】 当市は他の市町に比べI C Tの導入が遅れている。そのため、時には先生個人のタブレットやスマートフォンを使って授業を行っている。情報教育の推進やその環境整備をどのように考えているのか、次年度に整備する考えはあるのか。

【答弁】 活用方法に加え、情報モラルなどの教育は小中学校においても不可欠なものと認識している。授業への情報機器の導入については、I C T環境の変化や機器の進歩が著しく、今後の検討課題である。導入効果などを精査の上、環境整備に努めていく。

その他の質問

- ①移住支援について
- ②ジビエの普及について



稲村 信成 議員

邑知の郷公園を 自然農法研究所に！



邑知の郷公園

自然栽培の実施研究所を邑知の郷公園に

【質問】5年で自然栽培聖地化を目指す戦略について提案。邑知の郷公園全体を自然栽培農法の一大研究所としてはどうか。木村塾を常設し、野菜・果実・米の試験農園、耕作・販売でのITの活用、情報発信、の施設とする。世界農業遺産、能登半島、神子原米、朱鷺飛来など他県がうらやむキーワードが揃い、多くの視察者による自然栽培の駅となるのでは。

【答弁】公園の全てを自然栽培農業の施設にする事は市民の理解が得にくい、同地には木村氏の理念を受け継ぐ農業塾の拠点があり、公園内に自然栽培の集出荷加工施設などを整備し聖地化の核として位置づけ、全国発信して行きたい。

羽咋創生戦略の目標設定、検証を明確に

【質問】創生戦略は、重要業績評価指標の設定やPDCA活動により実施との事だが、設定の準備不足やPDCA活動の技能不足が懸念される。また、総合戦略会議、議会でのまち・ひと・しごと創生特別委員会の両組織に精度の高い検証を求めているが、結果の評価をしても、分析・検証機関の技能は疑問。

【答弁】創生戦略は、国の早急なる要望にて作成した。今後市民への周知や庁内政策推進会議での職員の技能向上・能力向上に努めたい。創生総合戦略会議には外部有識者が多数参画しており、策定、実施、検証、改善を一体的に実施する予定。

その他の質問

①市民の健康増進プログラムについて

決算特別委員会

◎稲村 信成 ○松永 幸則 北川 真知子
櫻井 英一 高田 甚哉 中村 重幸

当委員会で付託された案件は、平成26年度羽咋市一般会計歳入歳出決算をはじめ、4つの特別会計歳入歳出決算並びに2つの企業会計決算。これらの案件について、9月11日を初日とし、計3回にわたり委員会を開催し、説明を聴取し慎重に審査を行った結果、認定第1号及び第2号は賛成多数により原案のとおり認定すべきものと決し、認定第3号から第7号については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決した。審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】固定資産税賦課事業の標準宅地鑑定評価委託について、宅地の評価は下がってきていると思うが、現在の状況は。

【答弁】現在、全体的に評価は下がっているが、駅東地区で一部横ばいの所もある。また、評価替えに伴う来年度の固定資産税は、3%から5%程度の減額になる見込みである。

【質問】市の人口が減少すると、水道・下水道料金にどのような影響が出るのか。今後の維持管理等の見通しは。

【答弁】人口が減れば使用量も減ることから、企業会計上、大きな課題である。これに対処するには、より

一層の施設の効率的な運営を図り、支出を抑える対策をしていくことが大切である。場合によっては、適正な使用料の設定も検討しお願いすることもある。

【質問】医療費については増加傾向にあるのか。他市と比較して当市の水準は。また、その対策は。

【答弁】医療費は、対前年度との比較では下がっている。しかし、一般的に高齢化や高度医療の影響で医療費は増加傾向にある。羽咋市は県内で、ワースト2、3番目である。対策としては、医療費の適正化に努め、ジェネリック医薬品の差額通知を出したり、特定検診の受診率向上に積極的に努める。

その他の主な意見としては、上水道事業の長寿命化対策について、ジェネリック医薬品の利用率について、保育所運営費の増加について、運営費企業立地推進事業の助成金の内容について、起業家支援事業の効果があつた理由について、羽咋市農産物等ブランディング事業戦略計画の策定内容について、森林病虫害防除事業の効果と今後の対策などについて質問があつた。

総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○浜名 等 松永 幸則 大塚 幸男
新田 義昭 中村 孝清 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第44号「平成27年度羽咋市一般会計補正予算第4号」中、当委員会所管分など議案12件、報告1件、請願2件。

慎重に審査を行った結果、議案12件及び報告1件については全会一致で原案のとおり可決・承認した。

請願第13号「羽咋市高齢者入浴助成券の増枚、増額についての請願」は全会一致で採択、請願第15号「平和安全保障関連法の廃止を求める意見書の提出を求める請願」は賛成少数で不採択とした。

また、陳情2件については聞き置いた。

審査過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】 歳入の外国人旅行者受入環境整備事業費補助金について、どのような箇所の整備に対する補助なのか。

【答弁】 外国人受入れのために宿泊施設・設備等を整備した場合、1件40万円を限度として補助するものである。例えば、宿泊施設で施設内の案内標記等を外国語対応に整備する場合、外国人仕様にしたもので認められたものに対して補助することになる。

【質問】 認定こども園運営事業について、ある園では「土・日・祝日の受入れに関して、仕事等の理由でなければ、できるだけ家庭で子どもをみてほしい」との案内があった。その理由は何か。

【答弁】 主旨を確認したところ、「国では休日に親子が共に過ごすことは好ましいことであると推奨していることや、土日に親御さんがいるのに子どもを預けると子供が寂しがっていることから案内を出した」とのことであった。当然、保育が必要な子どもをお預かりする制度であり、これからは適切に対応するように指導を行なった。

産業文教常任委員会報告

◎寺井 哲也 ○高田 甚哉 北川 真知子
稲村 信成 塩谷 久司 中村 重幸 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第44号「平成27年度羽咋市一般会計補正予算第4号」中、当委員会所管分など議案5件、報告1件、請願2件。

慎重に審査を行った結果、当委員会に付託された議案5件、報告1件については全会一致で原案のとおり可決・承認した。

請願第12号「園芸総合集出荷施設の整備に関する請願」については、全会一致により採択とした。請願第14号「T P P 交渉に関する請願」については、なお審査を要す必要があることから、継続審査とした。

審査の過程での主な質疑・要望は以下のとおり。

【質問】 自然栽培を希望する新規就農者に対して、自然栽培以外についての支援は考えているのか。

【答弁】 基本的には、自然栽培に対しての支援になるが、J Aはくいと協定には、農業振興に関する項目があるので、一般的な農業への支援も行えるように、J Aと協議していきたい。

【質問】 滝地区の農地がほ場整備されたが、この場所で自然栽培をぜひ取り入れてほしい。

【答弁】 滝地区のほ場整備をした農地は約40ヘクタールあり、そのうちの8割をJ Aアグリはくいが耕作する予定である。自然栽培の取り組みについては、除草や水の問題等があり、今後、J Aと検討していく。

その他、休日における水道管破裂等への対応について質疑、答弁がされた。

平成27年 第5回定例会 12月議会

◇平成27年度の一般会計補正予算をはじめ全議案を可決

平成27年度一般会計補正予算など議案17件、報告1件を原案のとおり可決、承認。また人事案件2件を同意した。請願については2件を採択、1件を継続審査、1件を賛成少数で不採択とした。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
市長提出議案第45号	平成27年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第46号	平成27年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
市長提出議案第47号	平成27年度羽咋市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第48号	平成27年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第50号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第53号	こすもす保育園の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第54号	とき保育園の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第55号	呂知保育園の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第56号	羽咋市老人福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第57号	羽咋勤労者総合福祉センターの指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第58号	羽咋市ファミリーランド等の指定管理者の指定について	可 決
市長提出議案第59号	羽咋郡市広域圏事務組合規約の一部変更について	可 決
市長提出議案第60号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意
市長提出報告第16号	平成27年度羽咋市一般会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	承 認
請 願 第 1 2 号	園芸総合集出荷施設の整備に関する請願	採 択
請 願 第 1 3 号	羽咋市高齢者入浴助成券の増枚、増額に関する請願	採 択
請 願 第 1 4 号	T P P 交渉に関する請願	継続審査
市長提出認定第3号	平成26年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
市長提出認定第4号	平成26年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
市長提出認定第5号	平成26年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
市長提出認定第6号	平成26年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	認 定
市長提出認定第7号	平成26年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	認 定
市長提出諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任
市長提出諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適 任

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

	議 案 名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田甚哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
市長提出議案第44号	平成27年度羽咋市一般会計補正予算(第4号)	○	○	×	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	○	×	可 決
市長提出議案第49号	羽咋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	可 決
市長提出議案第51号	羽咋市税条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	可 決
市長提出議案第52号	羽咋市国民健康保険税条例及び羽咋市介護保険条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	可 決
請 願 第 1 5 号	「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書の提出を求める請願	×	×	○	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	不採択
市長提出認定第1号	平成26年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認 定
市長提出認定第2号	平成26年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	認 定

市民の声

全学校にメール配信システムの導入を！

K.O (羽咋地区・40代・男性)

市議会だよりは、どんな議員さんがどんな質問をし、それに対して市がどんな答えをするのかをいつも楽しみに見ています。

しかし前回の市議会だよりは驚きました。メール配信システムのことについてのやりとりでしたが、8校中まだ5校しか導入してないとのこと。我が子の通う学校では導入されており、いろいろな情報が適時に配信されるため、とても助かっております。なのに、市の答えはあり得ない“言い訳”に聞こえました。市長・教育長のトップダウンでは行えないのでしょうか。

求める保護者(市民)は多いのですから、議員の皆様にはもっと頑張ってください。

里山のいのししに期待！

I.M (邑知地区・30代・男性)

近年、イノシシの被害を多く耳にします。近所の方々も畑を荒らされて、でもどうしたらいいかわからないと困っていました。しかし今年、一つの解決策が見えました。地域おこし協力隊の活躍です。県外から羽咋市にきてくれて、とても頼りになるのですが、心配なことがあります。協力隊は任期が3年、町内に食肉処理施設も作られましたが、それでおしまいではなく、今後も継続して駆除を行い、世界農業遺産里山イノシシとしてブランド化し、地域にとってプラスとなるよう議論を続けてください。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入だけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は3月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成27年12月議会の会議録は、3月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

昨年末、石破茂地方創生担当大臣が羽咋市にお越しになり、ちりはまホテルゆ華、妙成寺、神子の里、神音カフェなどを視察されました。日本に1700以上もある自治体の中で、わざわざ羽咋市に足をお運びいただけるとは大変に有り難いことです。大臣は地方創生における羽咋市の様々な積極的な取り組みに非常に興味関心を持っておられ、また期待をされておられました。我々も期待に応えるべく、特に若い方々に羽咋を好きになってもらい、いつまでも住み続けられるような、いつか帰って来たいようなまちにしていきたいと思います。夏の参議院議員選挙から、18歳以上の方々が投票できるようになります。政治は私たちの生活や将来のあり方に関わります。若い方々がもっと政治を身近に感じてもらえるように、そしてもっと分かりやすくお伝えできるように、これからも議員一同、努力していきます。(松永幸則)

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	松永 幸則
副委員長	浜名 等
委員	北川真知子
	寺井 哲也
	櫻井 英一